

欧州景気に加速の兆し

ポイント① 欧州の企業景況感は順調に改善

欧州では、ワクチン普及や行動制限措置が実を結び、足元の新型コロナウイルスの感染者数が減少傾向にあるほか、景況感も大きく改善しています。中でも、5月のユーロ圏サービス業PMI（購買担当者景況指数）は55.1ポイントと前月比で4.6ポイント改善しました。感染拡大に歯止めがかかり、飲食店の営業再開などの規制緩和が進み、先行して改善してきた製造業をサービス業が追いかける形で、景況感が改善しています。

ポイント② 個人消費にも加速の兆し

5月のユーロ圏消費者信頼感指数も、2年7ヵ月ぶりの高水準を記録しています。経済活動が正常化へと向かうと同時に、コロナ禍で抑制されてきた潜在需要の顕在化などにも期待ができるので、今後消費支出は大きく改善していく可能性がうかがえます。

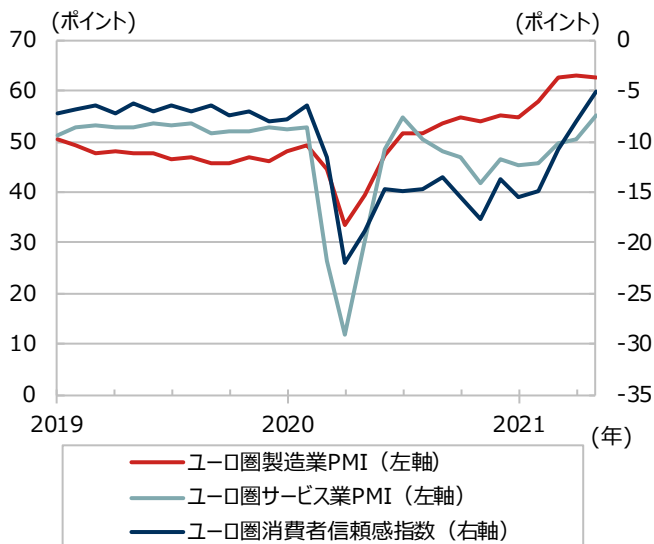
ポイント③ 経済正常化に最も近づく英国

欧州内で、ワクチン接種が先行している英国の5月の総合PMIは、62.0ポイントを記録し、1998年の統計開始以来、過去最高の数字となりました。4月中旬に、小売店の営業が再開、飲食店の内席営業が解禁されたことで、4月の小売売上高も大幅な上昇をみせています。5月2日には北西部リバプールにて、5,000人の観客を集めた、マスクなし・対人距離の確保なしのライブイベントが試験的に行なわれたほか、17日には国外への旅行が一部解禁されるなど、来月後半に予定される規制措置解除に向け、英国内にはコロナ以前の日常の光景が戻りつつあるようです。

とはいえ、英国・欧州ともに、急な規制緩和が感染の再拡大を招くリスクもあるので、感染状況ならびに各国政府の対応策を注視する必要があります。

図1：ユーロ圏PMIと消費者信頼感指数

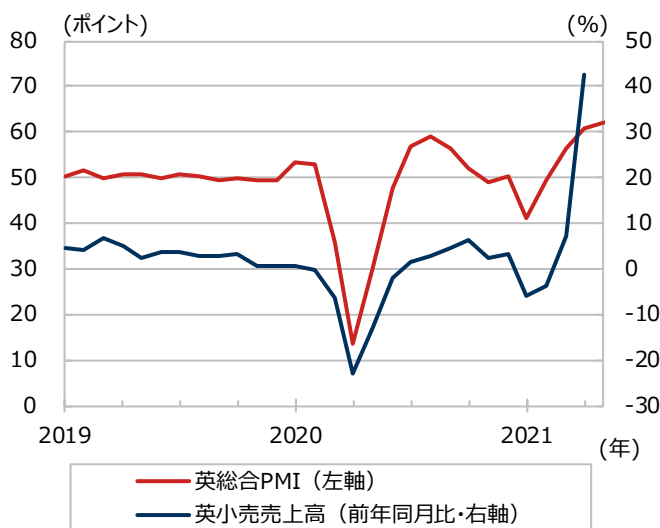
期間：2019年1月～2021年5月、月次



(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

図2：英小売売上高とPMI

期間：2019年1月～2021年5月、月次（小売売上高は4月まで）



(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

重要イベント

6月1日	ユーロ圏消費者物価指数 (5月) ユーロ圏失業率 (4月)
6月10日	ユーロ圏金融政策発表

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。